

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管  
一般医療機器 内視鏡・関節鏡用接続チューブ 70267000

## MMI イリゲーションセット

### 再使用禁止

**＊【禁忌・禁止】**  
**＜使用方法＞**  
再使用禁止、再滅菌禁止。

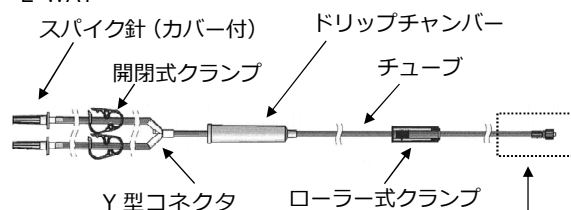
### \*\*【形状・構造及び原理等】

#### 1. 形状

本品は、スパイク針、クランプ（開閉式、ローラー式）、Y 型コネクタ、ドリップチャンバー、チューブ、コネクタ部（接続チューブ又はルアーロックコネクタ）からなる。形状・寸法及び装着部品の数値の違いによる数種のセットがある。

＜代表例＞

#### ・ 2-WAY



#### ・ 4-WAY



＜コネクタ部の形状拡大（2 タイプ）＞



#### 2. 原材料

|            |                                               |
|------------|-----------------------------------------------|
| スパイク針      | ABS 樹脂                                        |
| Y 型コネクタ    | ポリ塩化ビニル<br>（可塑剤：トリメリット酸トリス（2-エチルヘキシル））        |
| ドリップチャンバー  | ポリ塩化ビニル<br>（可塑剤（ボディのみ）：トリメリット酸トリス（2-エチルヘキシル）） |
| チューブ       | ポリ塩化ビニル<br>（可塑剤：フタル酸ジイソノニル）                   |
| 接続チューブ     | シリコーン                                         |
| 段付きコネクタ    | ポリ塩化ビニル<br>（可塑剤：テレフタル酸ビス（2-エチルヘキシル））          |
| ルアーロックコネクタ | ポリ塩化ビニル                                       |

#### 3. 原理

内視鏡や関節鏡に接続し、自然落下式又は加圧にて生理食塩液等の灌流液を供給する。

### 【使用目的又は効果】

鏡視下手術及び検査時に内視鏡や関節鏡に接続するチューブをいう。

### \*\*【使用方法等】

#### 1. 使用方法

- 1) 本品を滅菌包装より無菌的に取り出す。
- 2) チューブに付いているすべてのクランプ（開閉式、ローラー式）を閉じる。
- 3) 灌流液容器をスタンド等に吊り下げる。
- 4) スパイク針のカバーを外し、灌流液容器のスパイク挿入口に刺す。
- 5) 回路内の空気を除去するため、開閉式クランプを開放し、灌流液容器を圧迫したりゆるめたりしてプライミングを行う。
- 6) ローラー式クランプを開放し、残りの回路のプライミングを行う。
- 7) プライミング完了後、ローラー式クランプを閉じる。
- 8) コネクタ部（接続チューブ又はルアーロックコネクタ）を内視鏡・関節鏡に接続する。ルアーロックコネクタの場合はまっすぐに差込み、外側部分を回しながら確実に接続する。
- 9) 膀胱洗浄に使用する場合は、接続チューブを抜いて段付きコネクタを尿道カテーテルに接続する。
- 10) 内視鏡・関節鏡側のクランプ又はローラー式クランプで灌流液の流量を調節する。
- 11) ドリップチャンバーを指で圧迫したりゆるめたりして、ドリップチャンバー内の半分程度まで灌流液をためる。
- 12) 使用中の灌流液容器が空になる前に使用していない灌流液容器の開閉式クランプを開放する。使用中に空になった灌流液容器は開閉式クランプを閉じ、必要に応じて新しい灌流液容器に取り替える。

#### 2. 使用方法に関連する使用上の注意

- 1) 使用に際しては無菌的に取り扱い、すべての操作は汚染防止に十分な配慮をしたうえで行うこと。
- 2) 開封後は直ちに使用すること。いったん開封した場合は未使用であっても廃棄すること。
- 3) 開封時は、接続部に外れやゆるみがないことを確認してから使用すること。
- 4) 使用前に、汚れ・破損・変形等を点検すること。
- 5) 使用前にすべてのクランプ（開閉式、ローラー式）が確実に閉じていることを確認すること。
- 6) クランプ（開閉式、ローラー式）の開閉操作は確実に行うこと。
- 7) 灌流液の投与開始時・投与中は、灌流液の落下状況、ドリップチャンバー内の液面の高さ、灌流液の減る速度等を確認すること。ただし、加圧バッグを併用する場合は、ドリップチャンバー内が灌流液で満杯となり、ドリップチャンバー内の滴下量で流量を確認できないため注意すること。

- 8) プライミング後、ドリップチャンバーを横にしたり傾けたりしないこと [チューブ内に空気が混入し、灌流液が流れにくくなる可能性がある]。
- 9) 灌流液容器の交換、灌流液の投与中は、ドリップチャンバー内を空にしないこと [チューブ内に空気が混入し、灌流液が流れにくくなる可能性がある]。
- 10) 流量を増大させるために灌流液容器に過剰な力をかけないこと [接続部から液漏れを引き起こす可能性がある]。
- 11) 使用中は接続部のゆるみ、液漏れ、詰まり及び破損等がないことを定期的に確認すること。異常が認められた場合は使用を中止し、新しいものと交換すること。
- 12) 使用中はチューブの引っ張り、ねじれ、折れ曲がり、身体の下敷きによる閉塞や圧迫がないように注意すること [チューブの閉塞や破損、接続部が外れる等により、灌流液が流れにくくなる及び漏れやエアの混入等が生じる可能性がある]。

**\*\*【使用上の注意】**

1. 重要な基本的注意
  - 1) スパイク針に直接手を触れないこと [針刺し、感染の可能性がある]。
  - 2) 灌流液容器のスパイク挿入口にスパイク針を刺した際にゴム片が回路内に混入しないよう注意すること。
  - 3) 灌流液容器同士の高低差によるチューブのねじれ、折れ曲がりが発生していないことを確認すること [チューブの閉塞により灌流液が流れにくくなる可能性がある]。
  - 4) 輸液ポンプ等には使用しないこと。
  - 5) チューブを鉗子等でつまんで傷をつけないように注意すること [液漏れが生じる可能性がある]。
  - 6) ルアーロックコネクタタイプを使用する場合は、接続する内視鏡・関節鏡側に雌型コネクタが付いていることを確認すること。
  - 7) 術中の体位の変換で灌流容器とコネクタ部の高低差が減少した場合、灌流液が流れにくくなるがあるので注意すること。
  - 8) クランプ（開閉式、ローラー式）を長時間閉じた状態にした場合、チューブの閉塞がないことを確認してから使用すること。

**\*【保管方法及び有効期間等】**

滅菌有効期間： 3 年 [自己認証（当社データ）による]

**\*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売業者：**村中医療器 株式会社**  
TEL:0725-53-5546



製造業者：パシフィック ホスピタル サプライ社 台湾  
Pacific Hospital Supply Co., Ltd.